

ターンアラウンド

仙台市中小企業
チャレンジ補助金



事業名

(仮称) シェアリング工房・道具を活用した新規顧客開拓と、配信スタジオ事業

事業概要

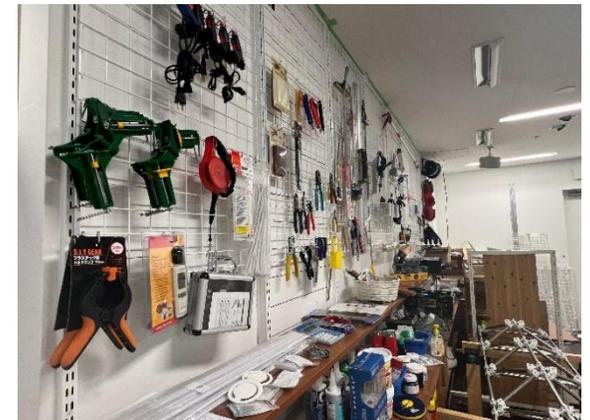
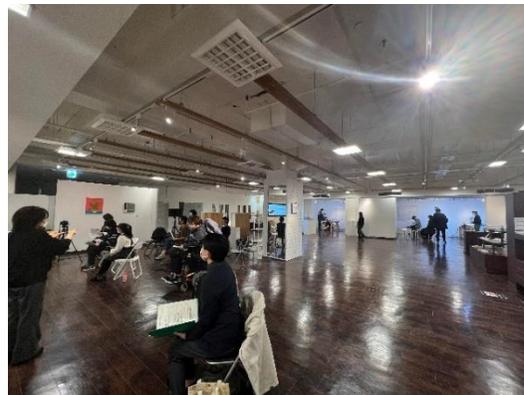
建築・設計・施工、アート・イベント設営・運営の事業行って来た中で所有する道具・機材のシェアリングサービス。新型コロナウイルスの影響もあり、DIYやオンライン配信の需要が高まる中、これまでの工具・機材等の使い方、DIYでできるところやプロにお願いする方がよいところなどをアドバイスする窓口を作り、お客様との接点を増やし、新規顧客を開拓。

事業の経過

- R3.4 ギャラリー一部運営開始
- R3.8 内装工事完了
- R3.8 センタースペース運営開始
- R3.9 配信スタジオ運営開始
せんだいメディアテーク
配信番組開始
- R3.12 ワークルーム・道具の
図書館完成、一部運営
開始
- R4.3 会員募集

補助対象経費

- ・内装工事、ギャラリー、配信スタジオ、
道具の図書館、ワークルーム



成果と効果

- ・施設稼働前より反響が多く、多くの方にスペース利用されている。
- ・アクセスの良い立地、商業施設内という来店の気軽さもあり、顧客との接点が増加したことによる受注の増加、またフォーラス館内での装飾、什器製作、デザイン、印刷、イベント企画などの受注。
- ・仙台フォーラスとマンスリーイベント年間契約。
- ・道具の図書館や配信スタジオ等の豊富な機材、工具を活用できる、同館に新設するコワーキングスペースとの提携。R4.春予定
- ・スペース内に他団体のプロジェクトルーム設置（現在3件、その他問合せ有）。
- ・せんだいメディアテークの委託事業 配信番組（インタビューズーザー）
- ・河北新聞に取上げられた。その後も取材の打診。その他取材の問合せあるが保留にしている。



課題・今後の展望

一部オープンした状況から反響が多く、多くの方に施設利用していただいている状況で、現在のスタッフ数ではオペレーションに不安がある。スタッフの確保、研修に課題。現在利用者を制限している。

そのような状況でメディアへの露出の制限をせざるを得ない。

その為、R4.3月より半年間、試用期間として、会員を限定し、オペレーションの最適化や料金の適正、利用者のご意見を反映させフル稼働できるようにする。